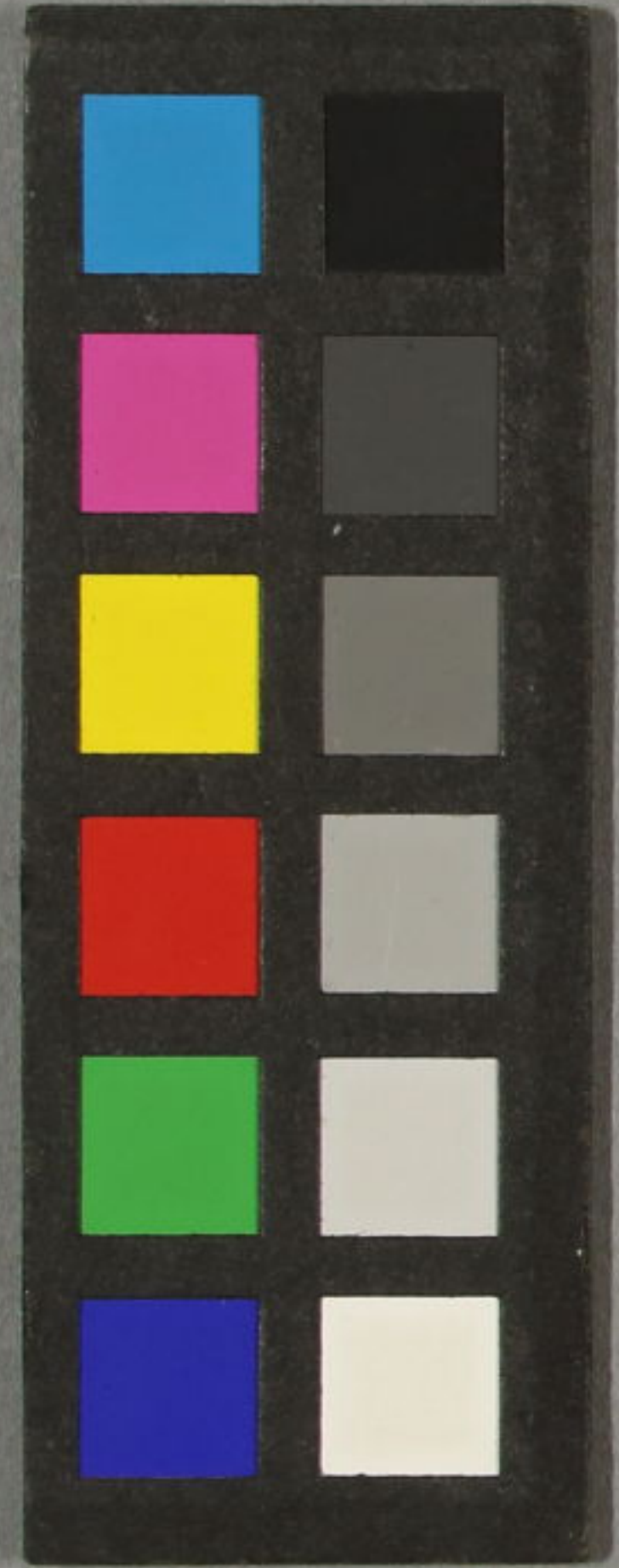


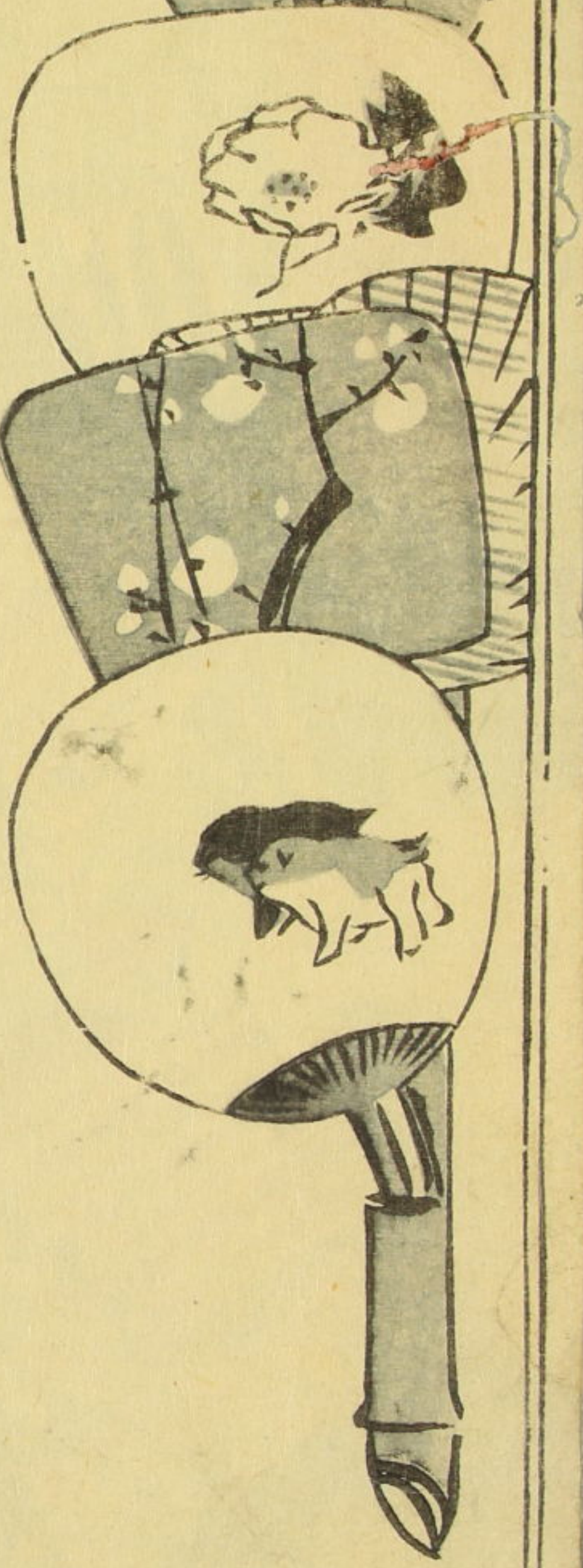


大河系

~ 13
3667
24



門へ13
 號3667
 24



犬の雙紙可七編

仙果縁
 上の巻
 其英を輝

妖尼幻術香烟の中み濱路媛の姿を現は



漢武帝李夫人の別と悲しみ反魂香と焚せて烟中み面影の見つと物言ハモ笑ひもせず然てハ肖像と觀ふ及もとの又古来奇を好みて常在ものを卑しむる幻術眼と惑は酷信る画ハ

三

俗よりとて顧
 草冊子七八の古
 版の亡魂なと世
 東と名を改換れハ
 自己物顔不作者
 も誇り誑とたま
 ふ見物もあり却て
 鈔録物の真面目な
 るを珍らしかるに
 此にて鈔録物ハ華
 びて情慢徒もあり
 著鈔録幾程の差別
 中の影の筆不写せる形不似て其
 と紛ふ條の主人の妙案。鈔録

物の本家本店犬八犬
 犬薬や犬櫻の續
 ぬ是乾坤間一草亭
 の犬小屋より拾育の
 つ逆物なると録まる
 ものハ沈香の〇〇

〇焚ぬ放屁
 作者のふじふ
 かん

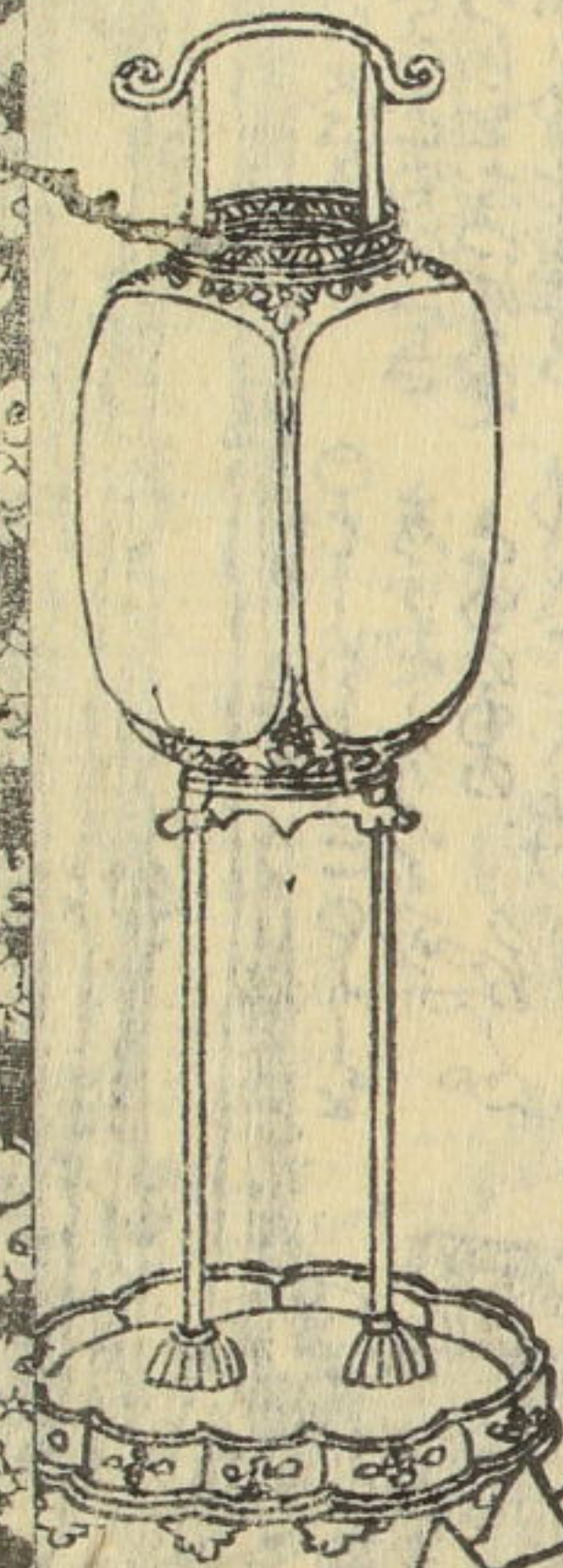


古今六帖
 もの
 うさうのふ此の

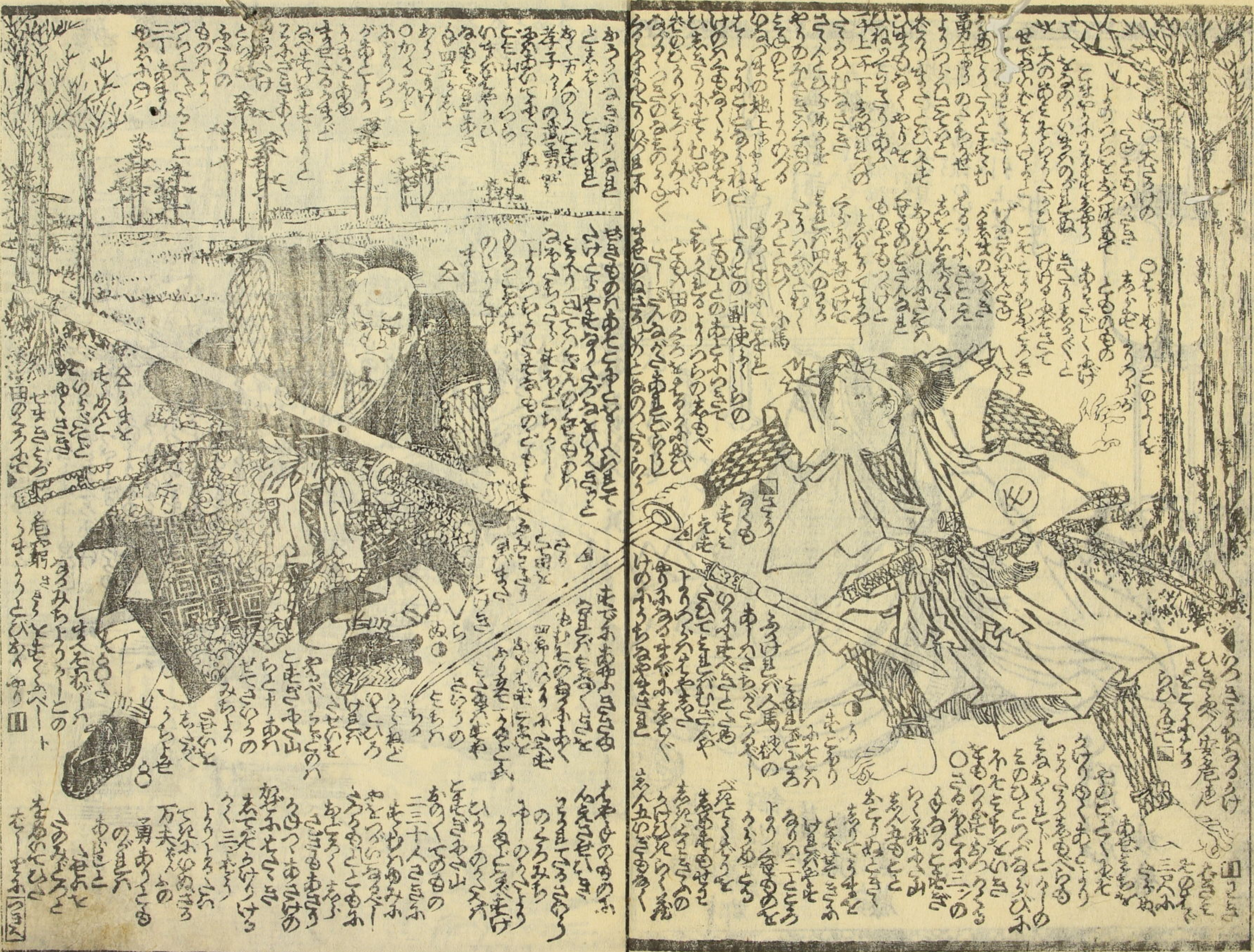
ひつりのの
 若ふまら
 せん

上総國
 夷高郡
 館山城主
 墓田
 権頭
 素藤

此画のもの語ハ三十
 九編のりて録止
 一當編修羅
 場をりて温
 柔なる画様のい
 帯なると引上げて
 出せり



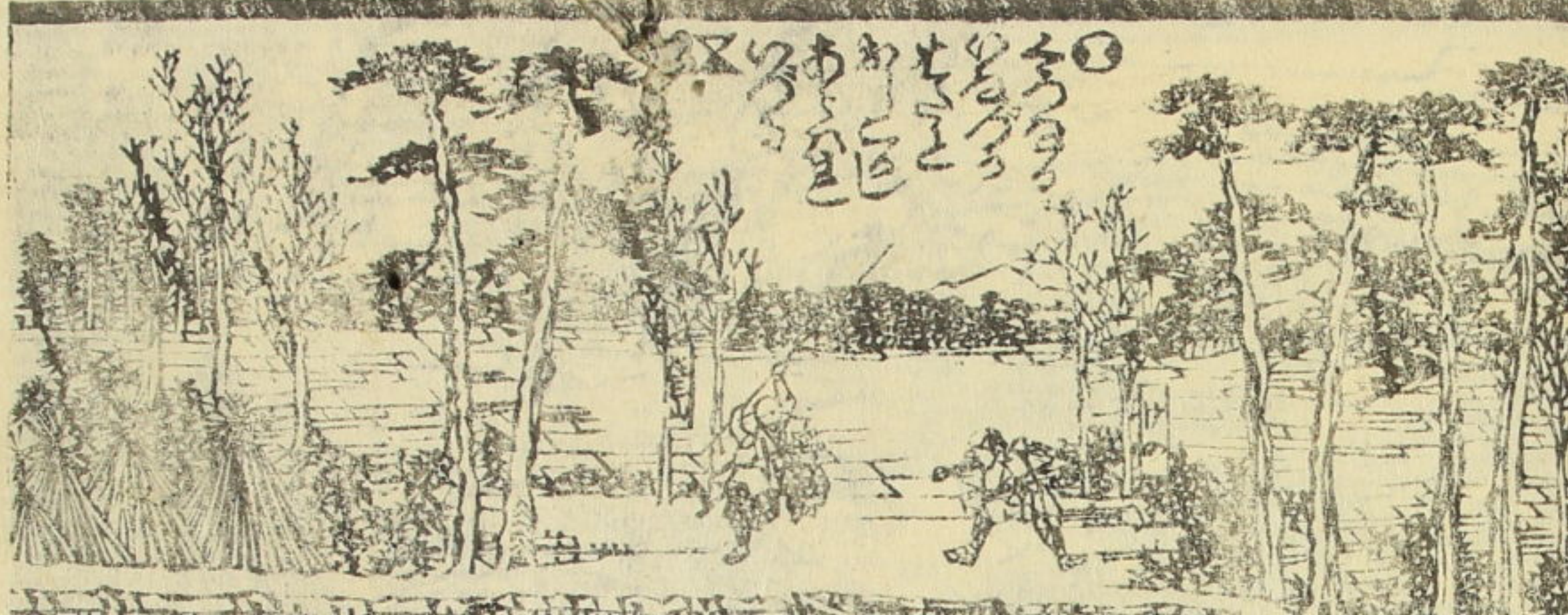
八百比丘尼
 妙椿



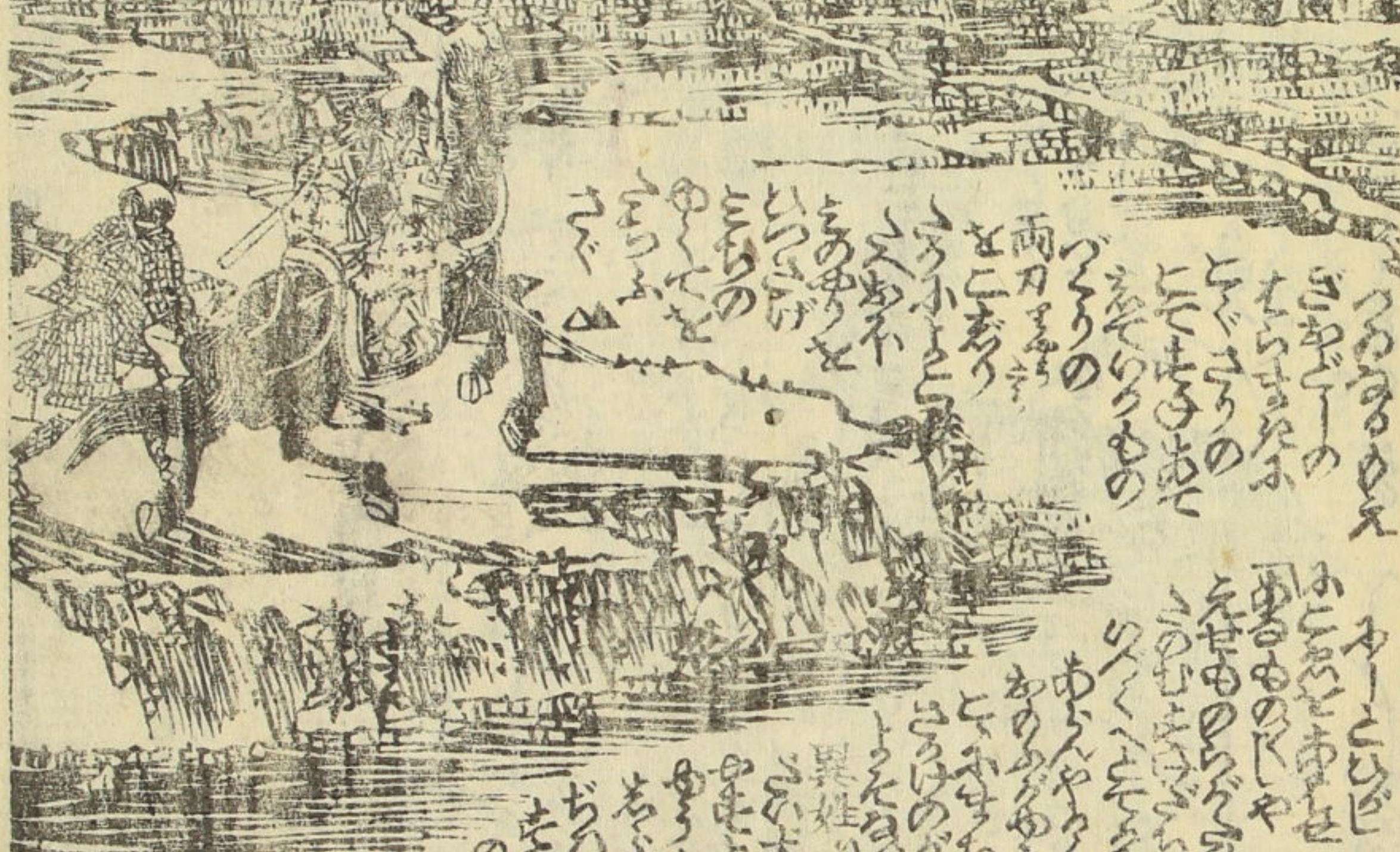
Vertical text on the left margin.

Vertical text on the left margin.

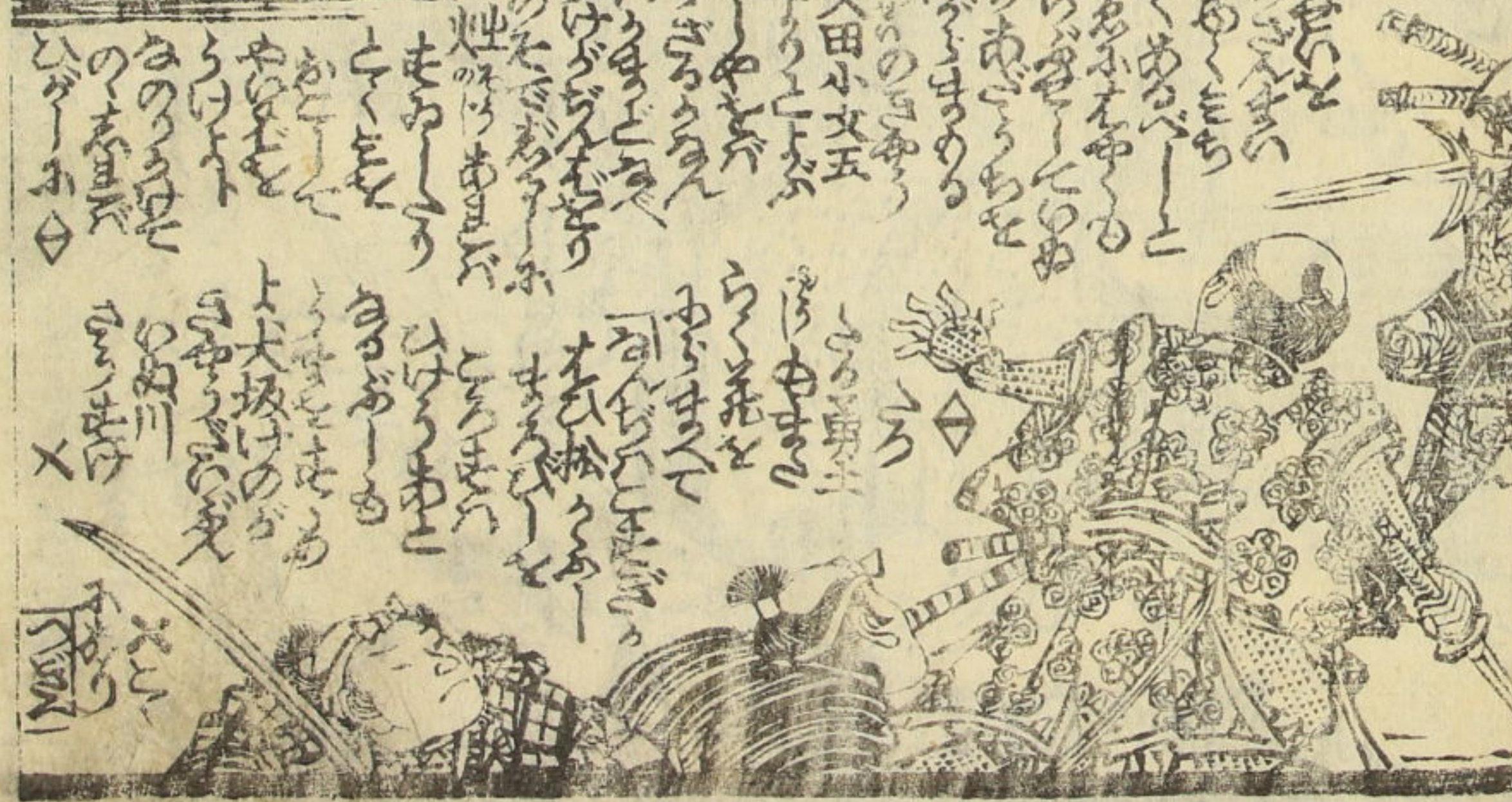
Vertical text on the right margin.



△北の
西の
東の
南の
西の
東の
南の



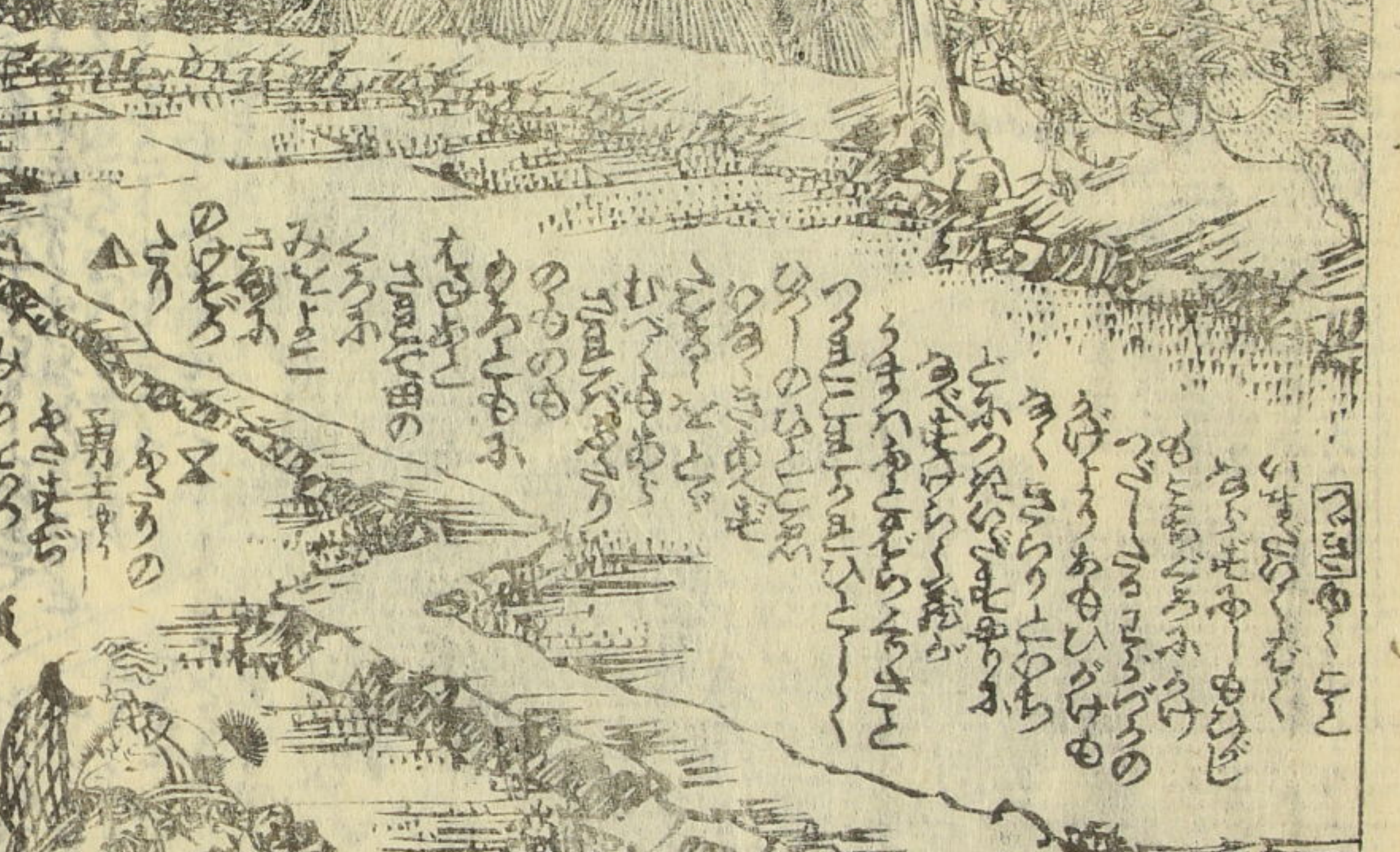
△北の
西の
東の
南の
西の
東の
南の



△北の
西の
東の
南の
西の
東の
南の



△北の
西の
東の
南の
西の
東の
南の



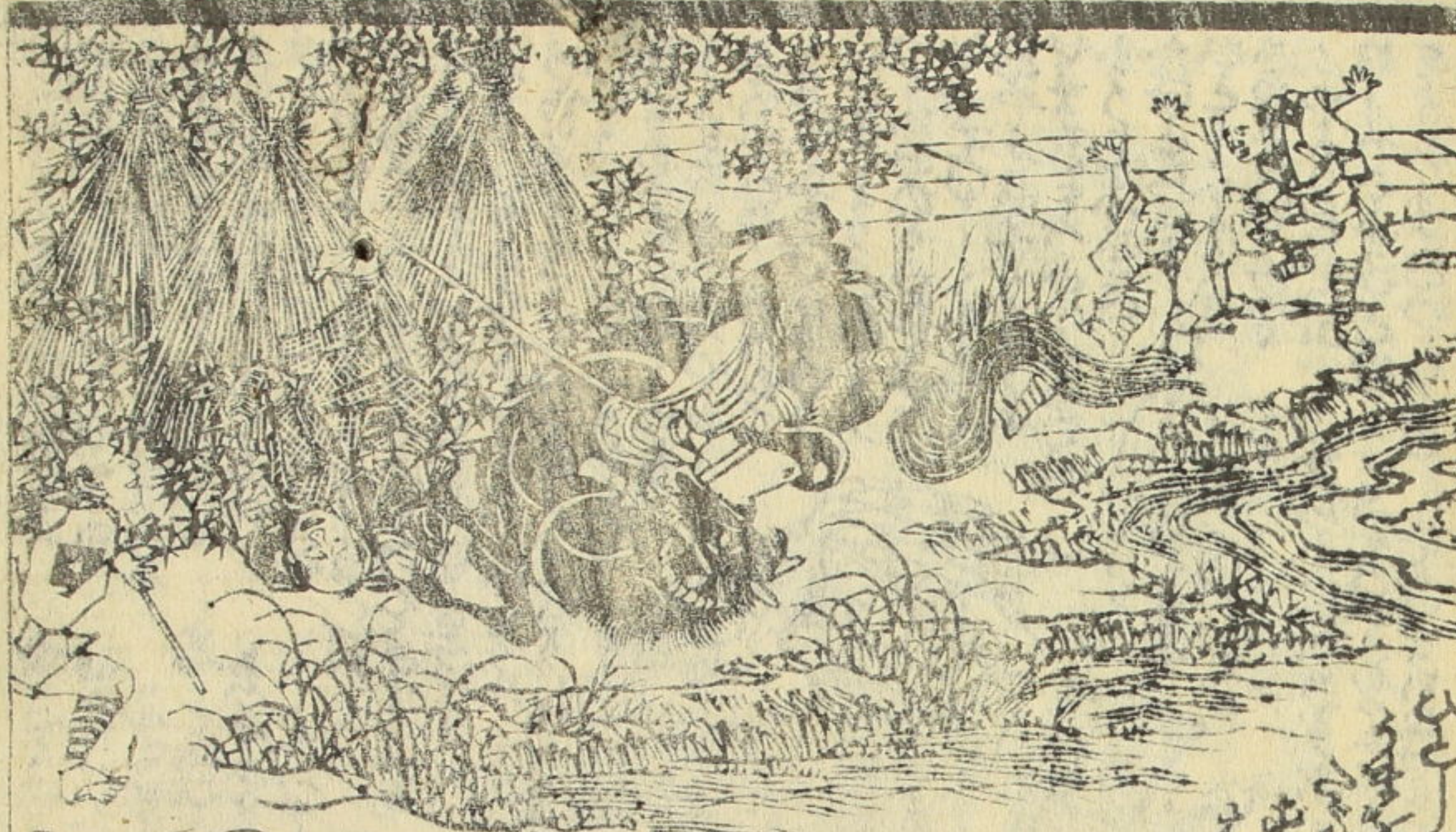
△北の
西の
東の
南の
西の
東の
南の



△北の
西の
東の
南の
西の
東の
南の

大の三十七

三



Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of a Japanese text. The text is arranged in several vertical columns, starting from the right side of the page and moving towards the left. The characters are densely packed and difficult to read without specialized knowledge of the script.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous section. It is arranged in vertical columns, with some characters appearing to be larger or more prominent than others, possibly indicating emphasis or specific terminology.



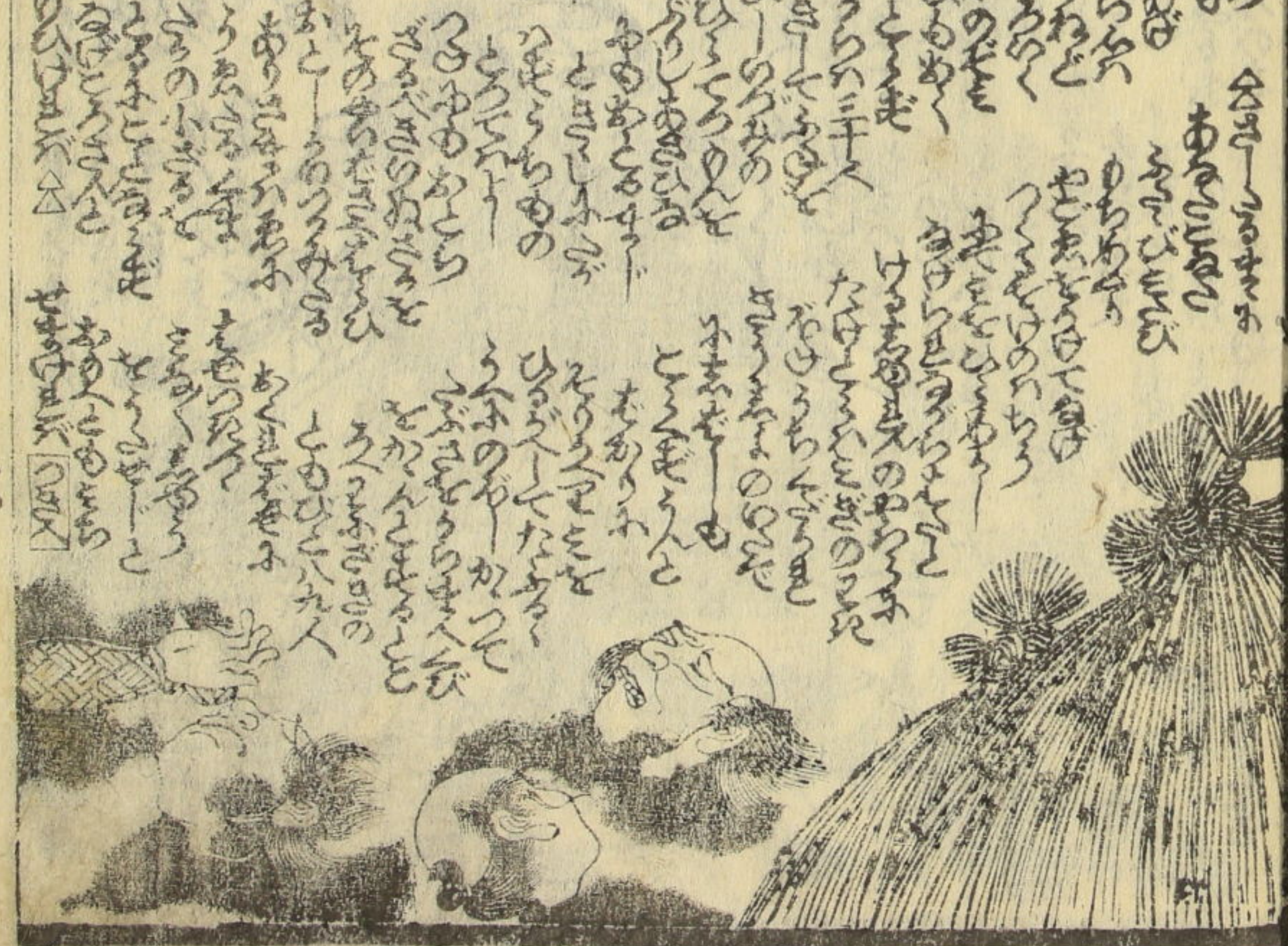
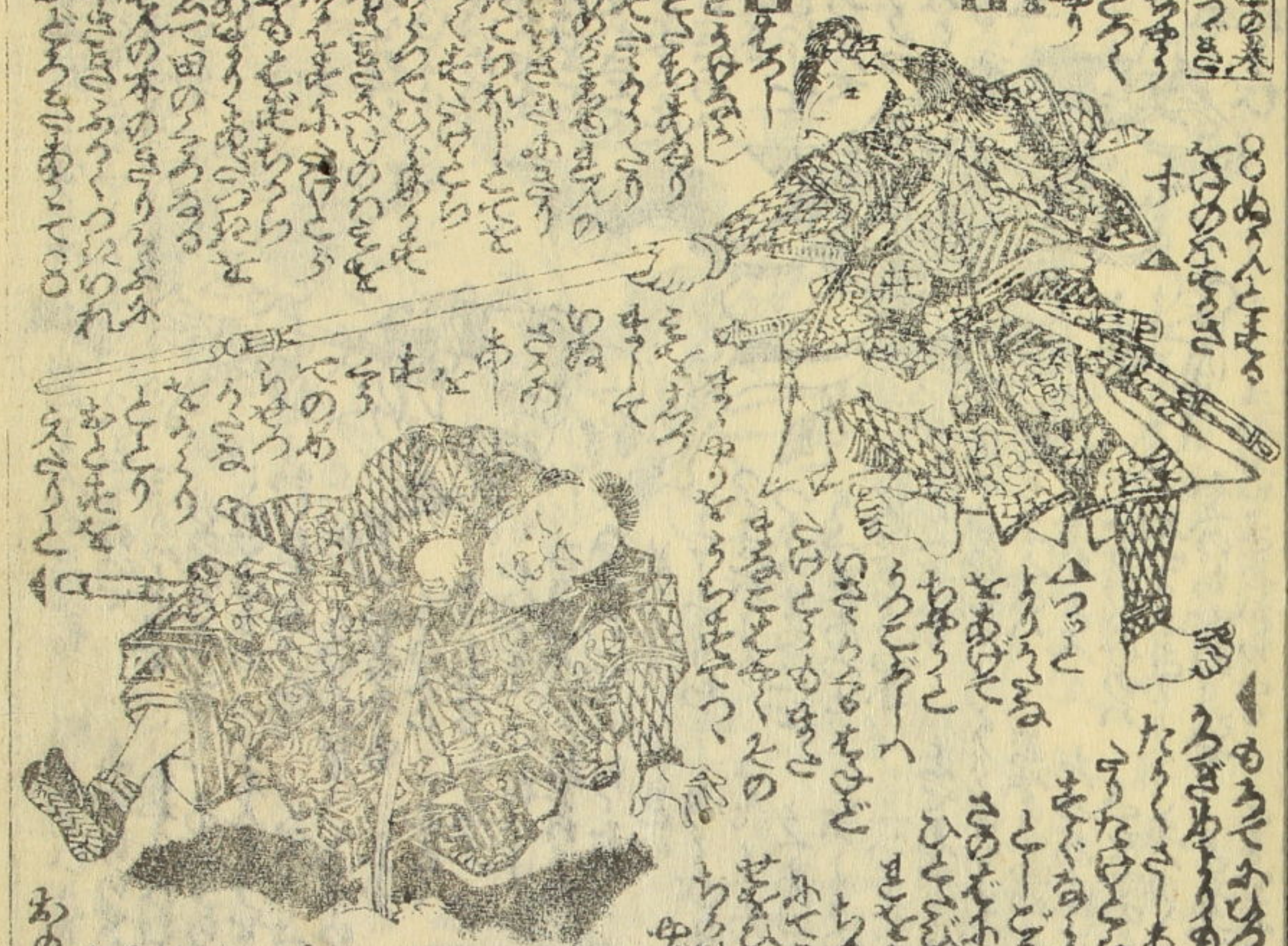
Handwritten text in a cursive script, positioned above the main illustration of the rider. The text is arranged in several vertical columns and appears to be a descriptive or narrative text related to the scene.

Handwritten text in a cursive script, located in the lower right corner of the page, below the main illustration. It consists of several vertical columns of characters.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical or literary record, covering the right page of the manuscript. The text is organized into several columns and includes various symbols and markers.



Handwritten text in a cursive script, continuing the record from the right page, covering the left page of the manuscript. The text is organized into several columns and includes various symbols and markers.

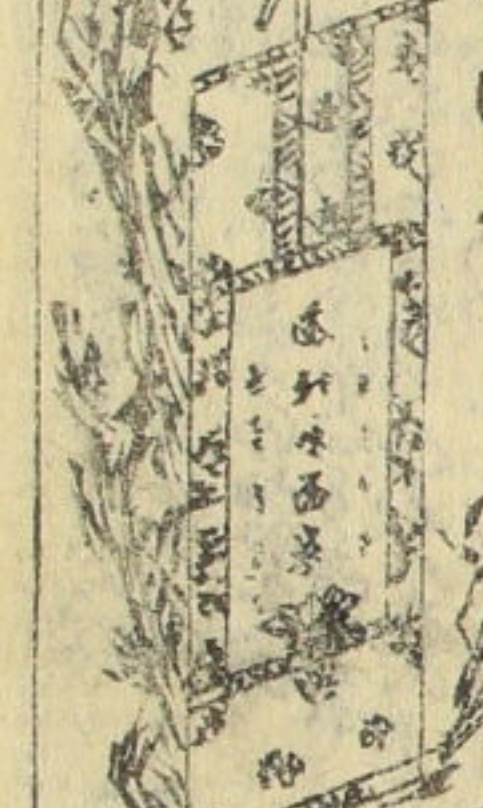




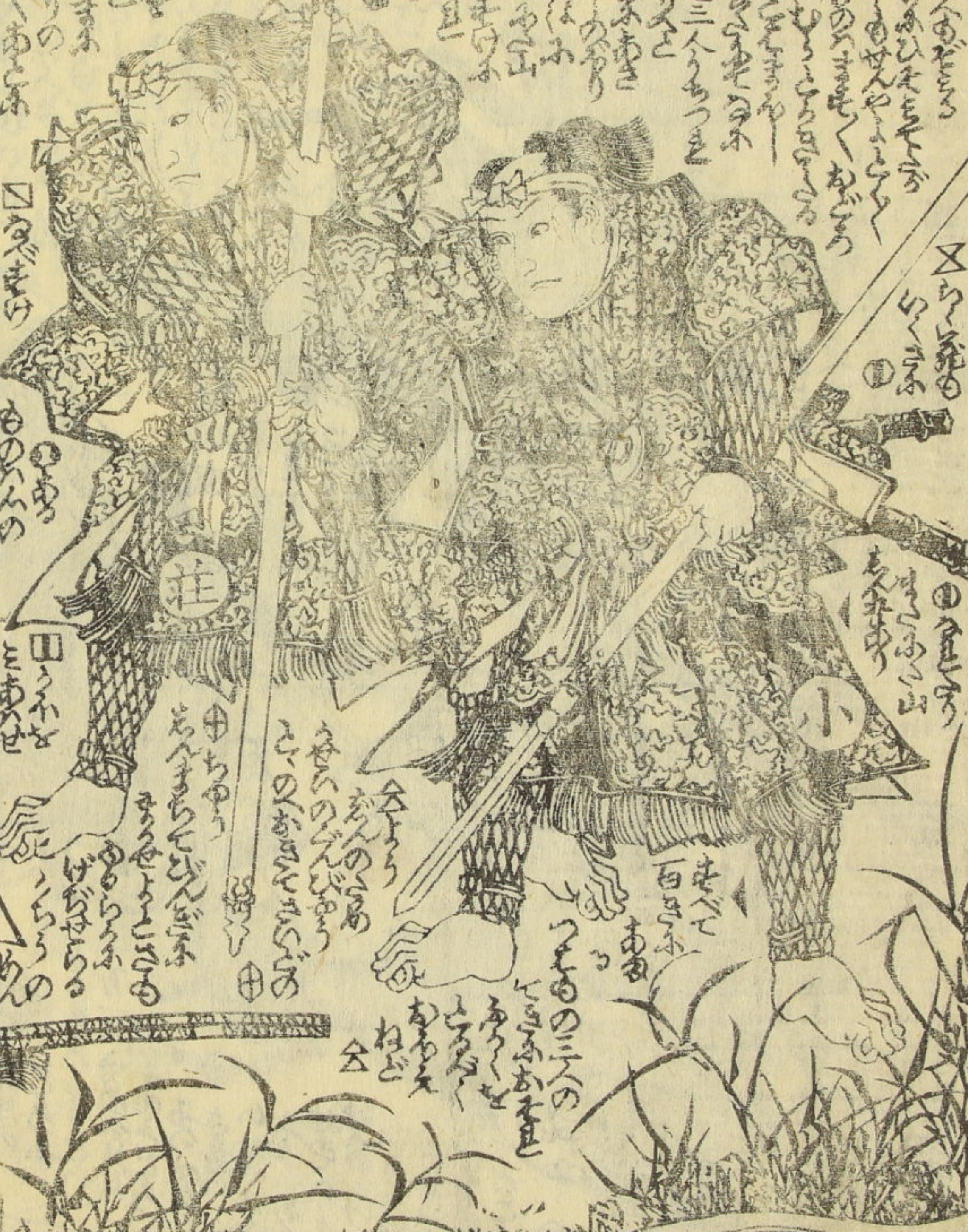
11

11

Handwritten text in vertical columns, likely a narrative or commentary. The text is written in a cursive style and covers the upper and middle portions of the page. Some characters are circled or marked with symbols.



Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or commentary. The text is interspersed with illustrations of figures and objects.



Vertical text on the right edge of the page, possibly a page number or a title.



仙果鈔録

國貞面圖

濡衣霧雨草紙

東譚話宇津山苞

實母散

廿二の地茶

御用薬師 信州上田東山堂製

柳亭 梅彦作
梅蝶樓 國貞画

柳亭 種彦作
梅蝶樓 國貞画

中橋南傳馬野三三郎
千葉堂孝輔製

廿二の地茶
廿四餅



國貞画

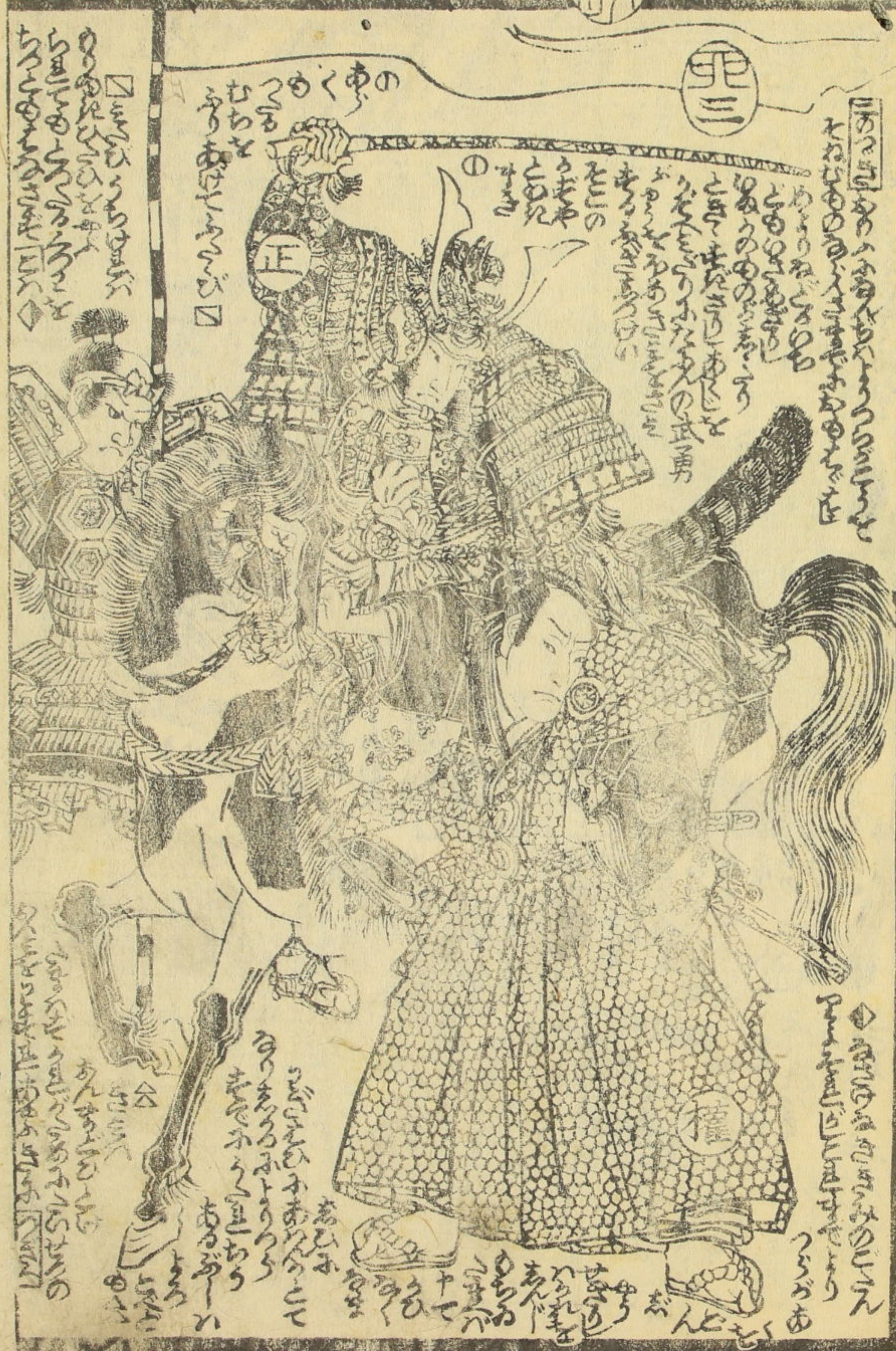
仙果録

升題即五國書

飛七緜下

紅英堂梓



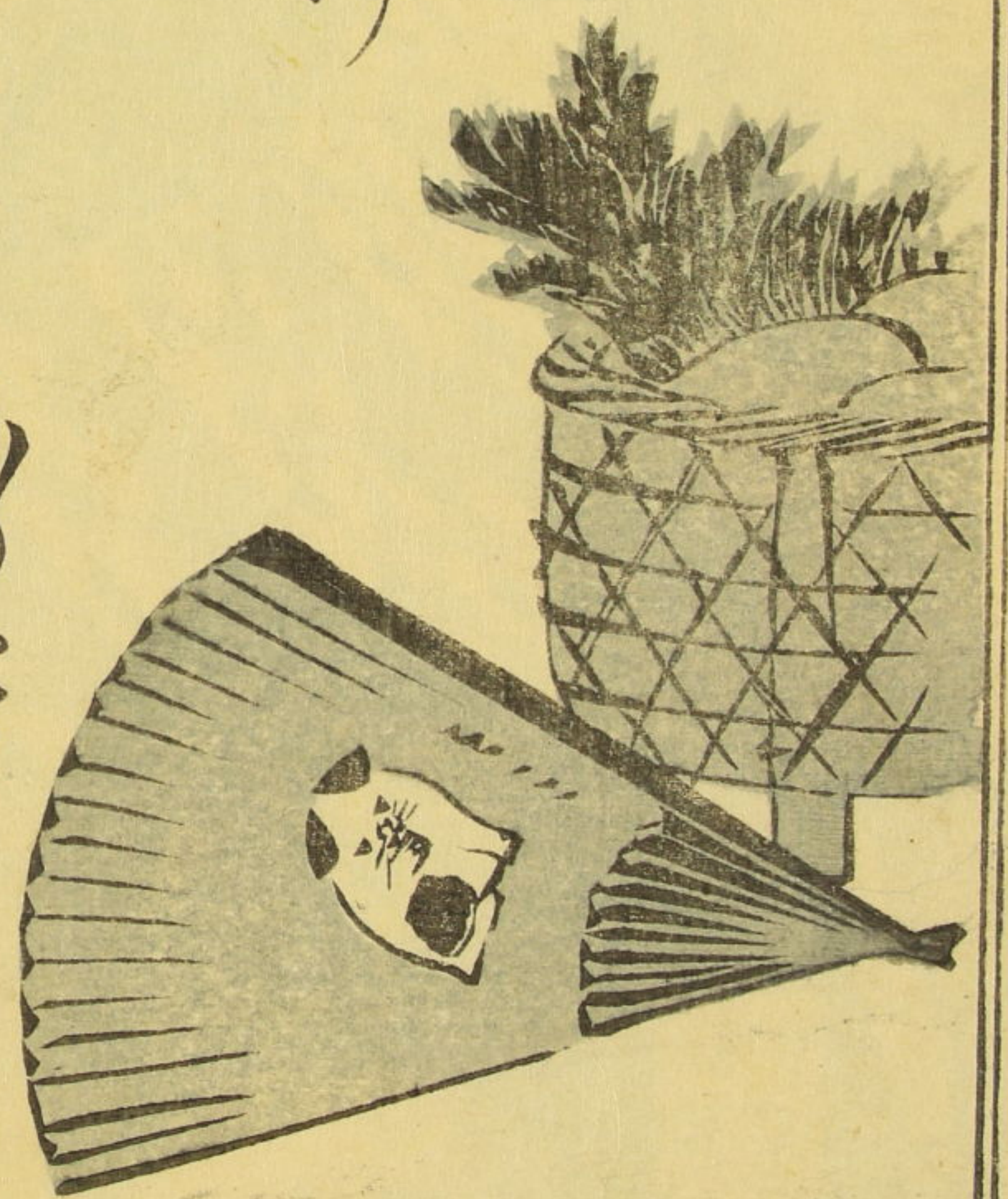


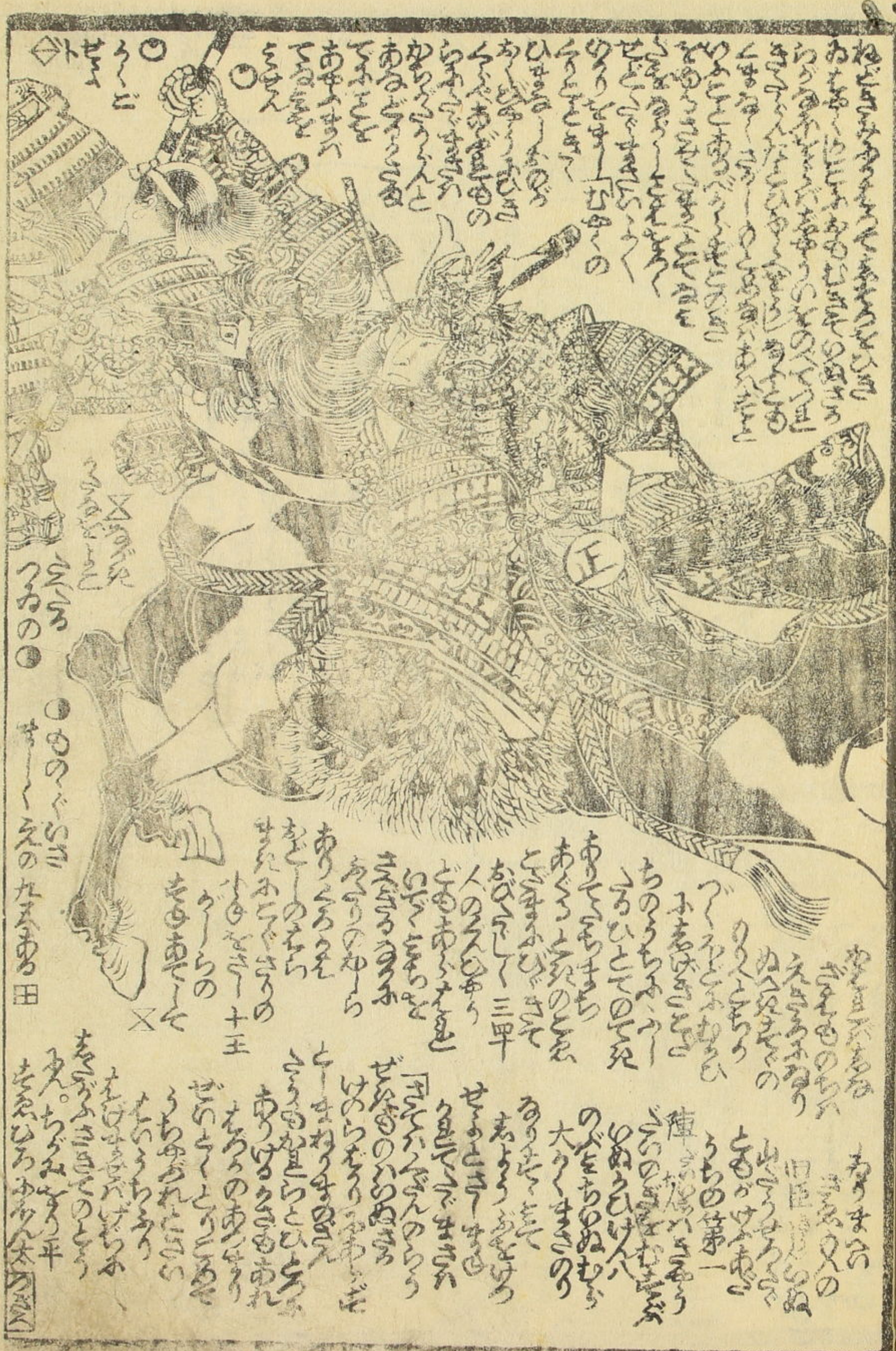
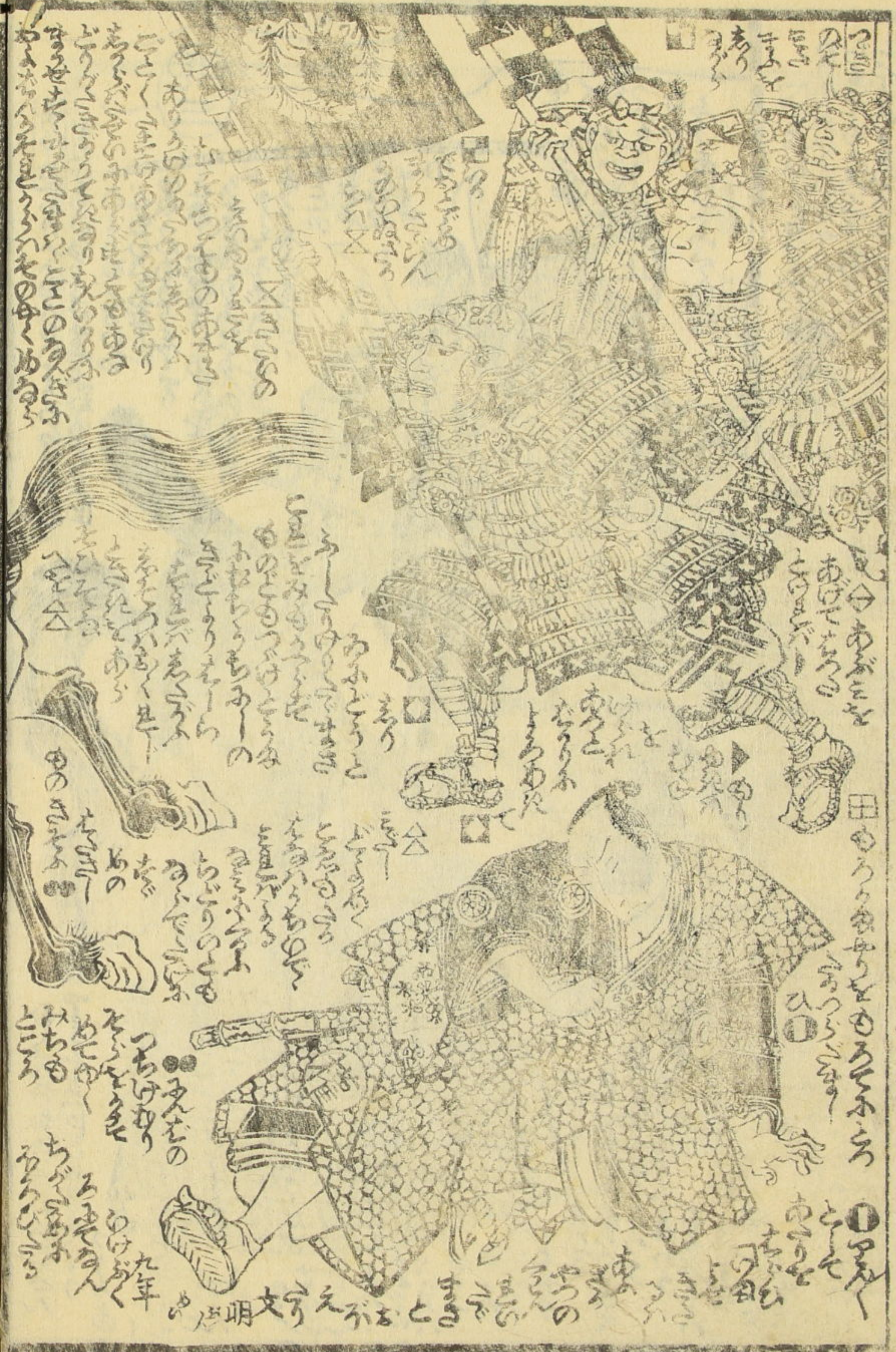
仙果
出貞
権

い娘の
お守

中七
海人

紅菜
芝草

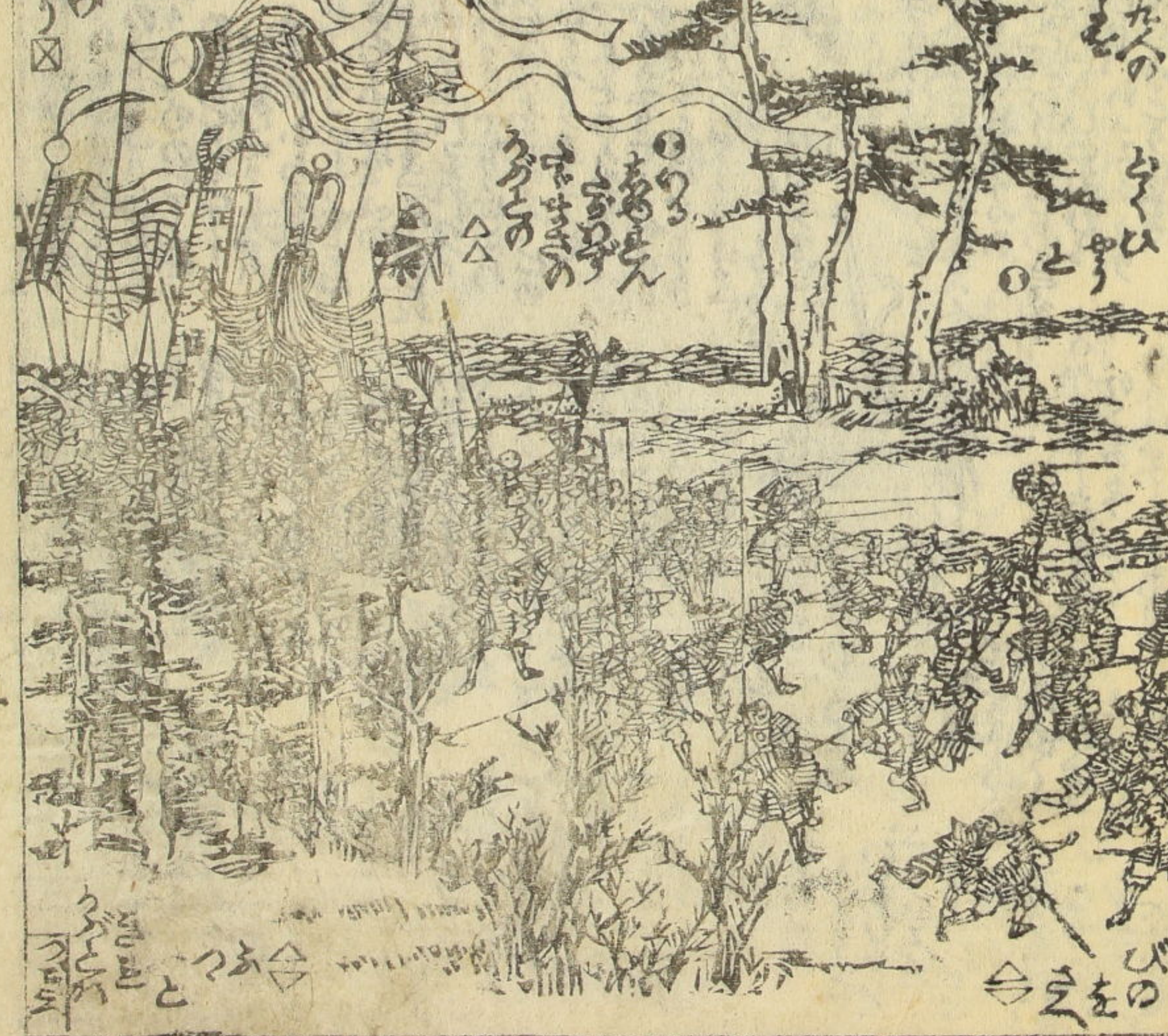




△ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を
 △ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を
 △ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を



△ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を
 △ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を
 △ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を

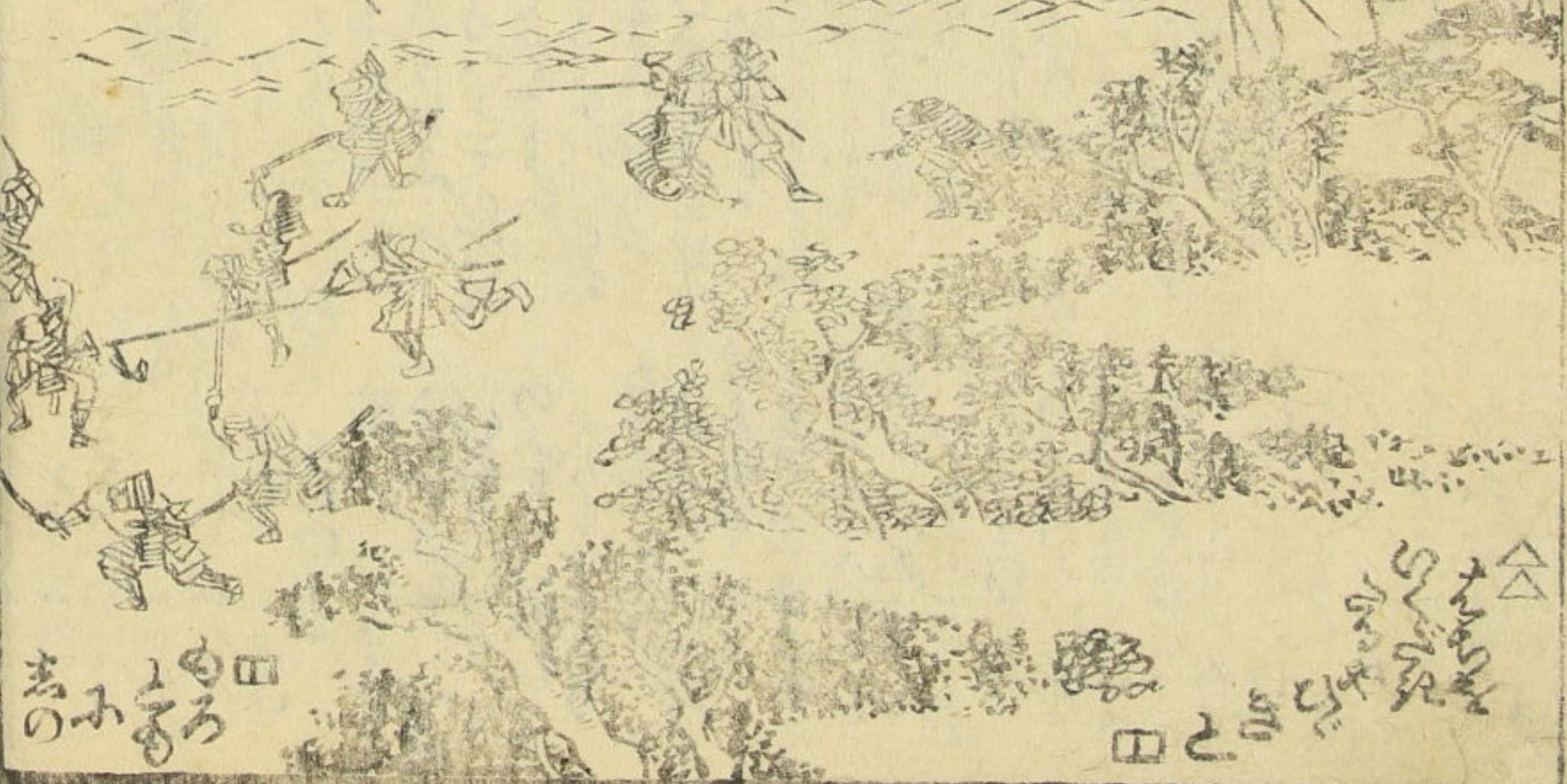


△ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を
 △ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を
 △ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を

△ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を
 △ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を
 △ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を

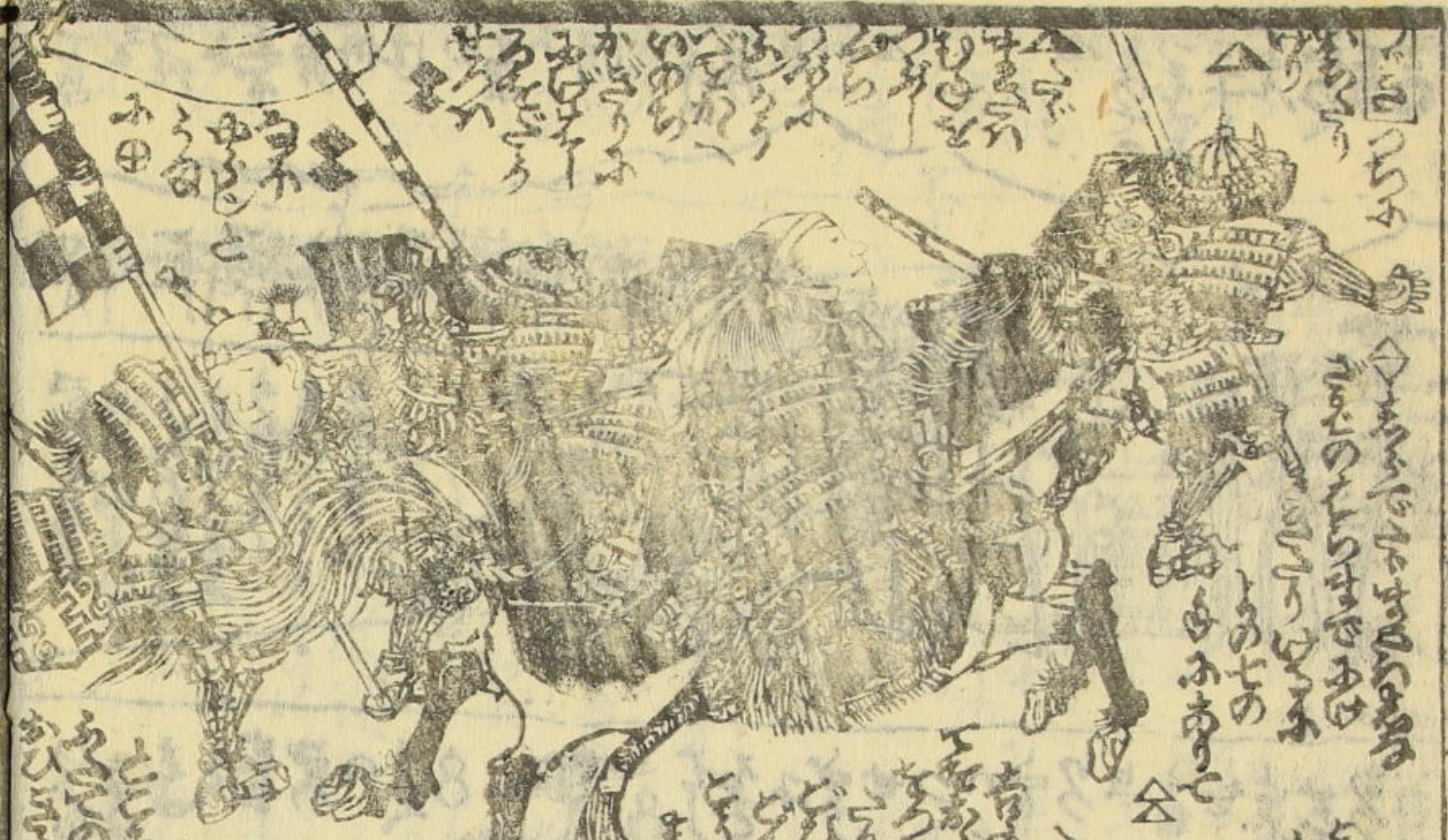
△ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を
 △ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を
 △ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を

△ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を
 △ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を
 △ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を

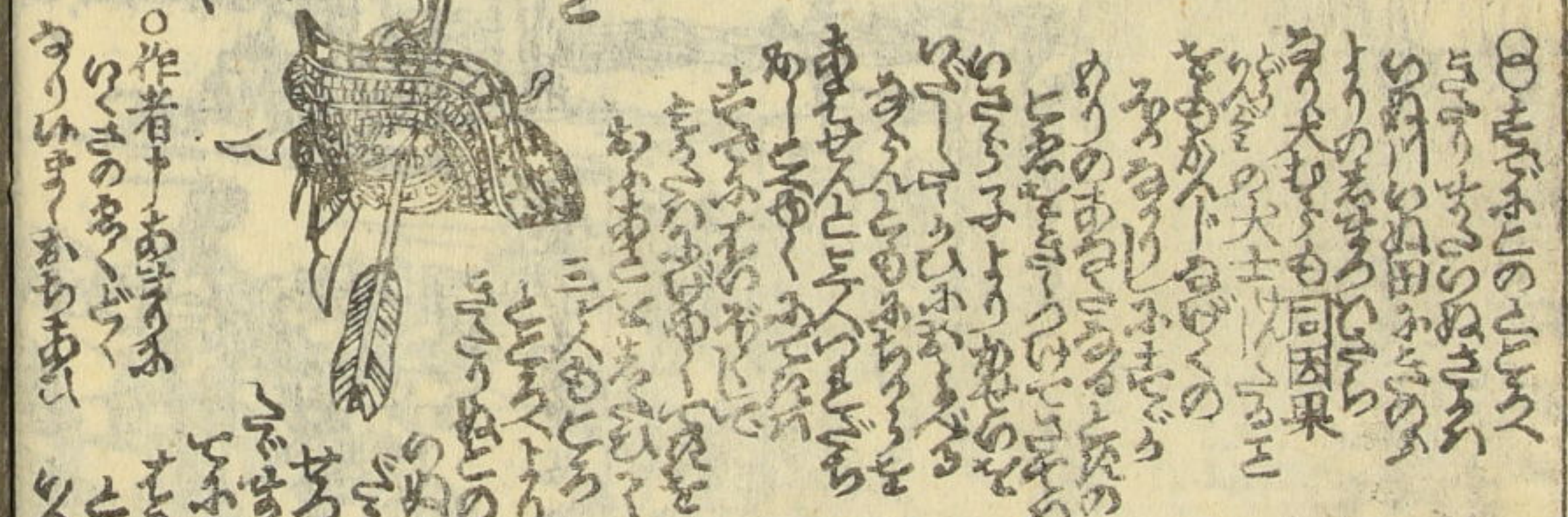


△ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を
 △ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を
 △ 山は高き 弱き 勇ましく 花を 花を

大の三十七

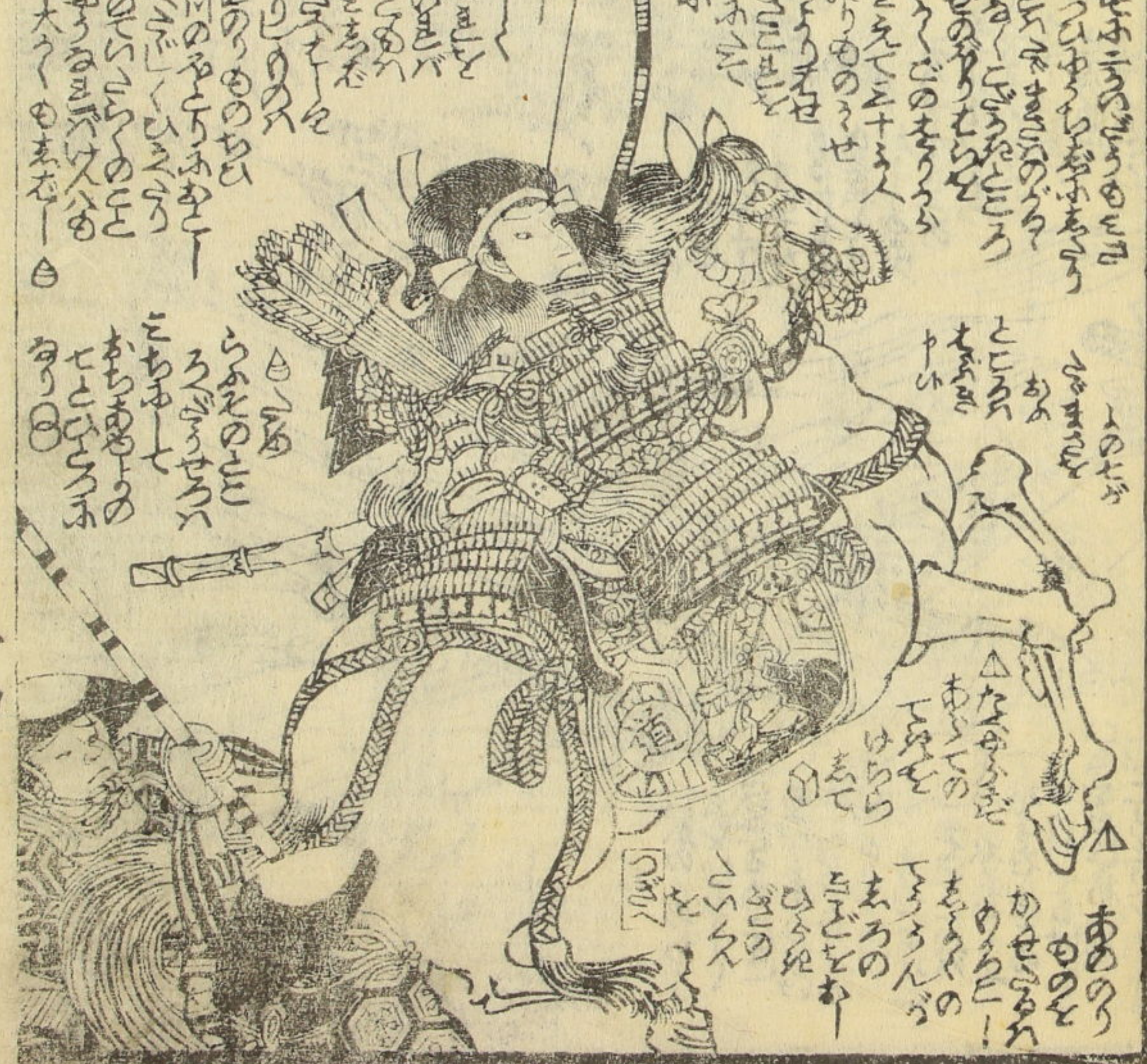


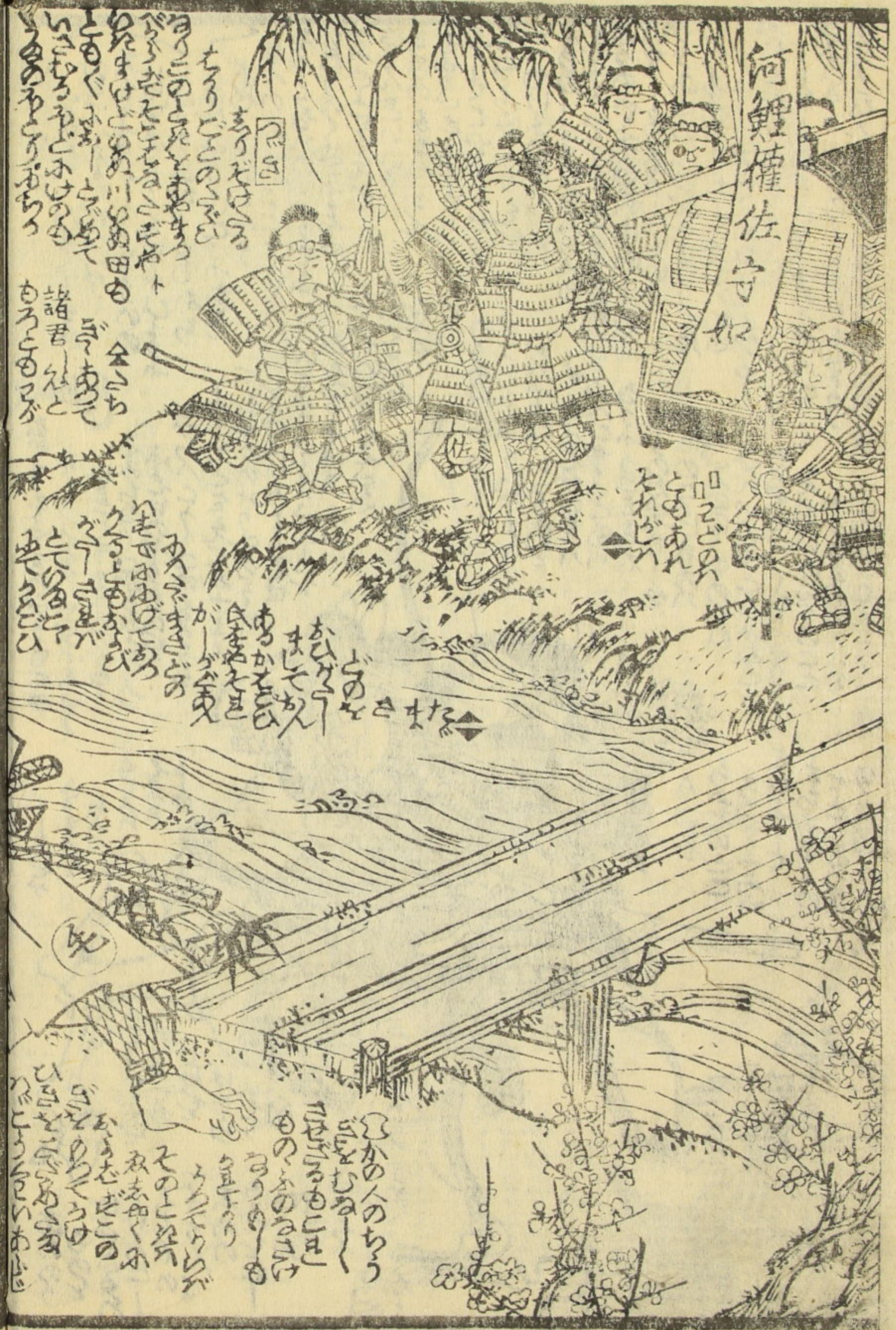
Handwritten Japanese text in vertical columns, likely describing the warrior or the scene.



Handwritten Japanese text in vertical columns, continuing the narrative or description.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the top of the left page.





河野權佐守如
 諸君と
 今も

さした
 あか
 が

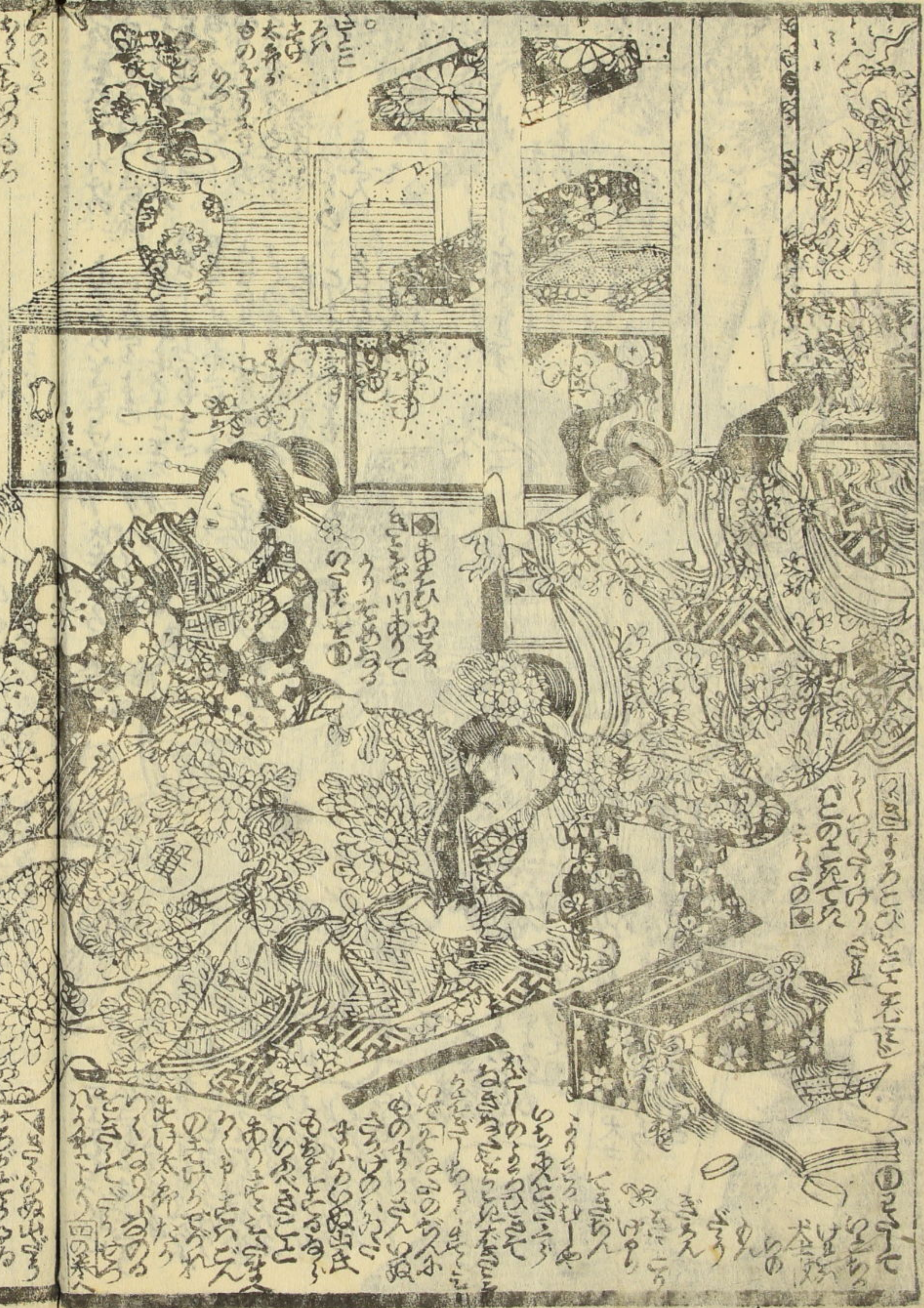
この人のち
 今も
 その

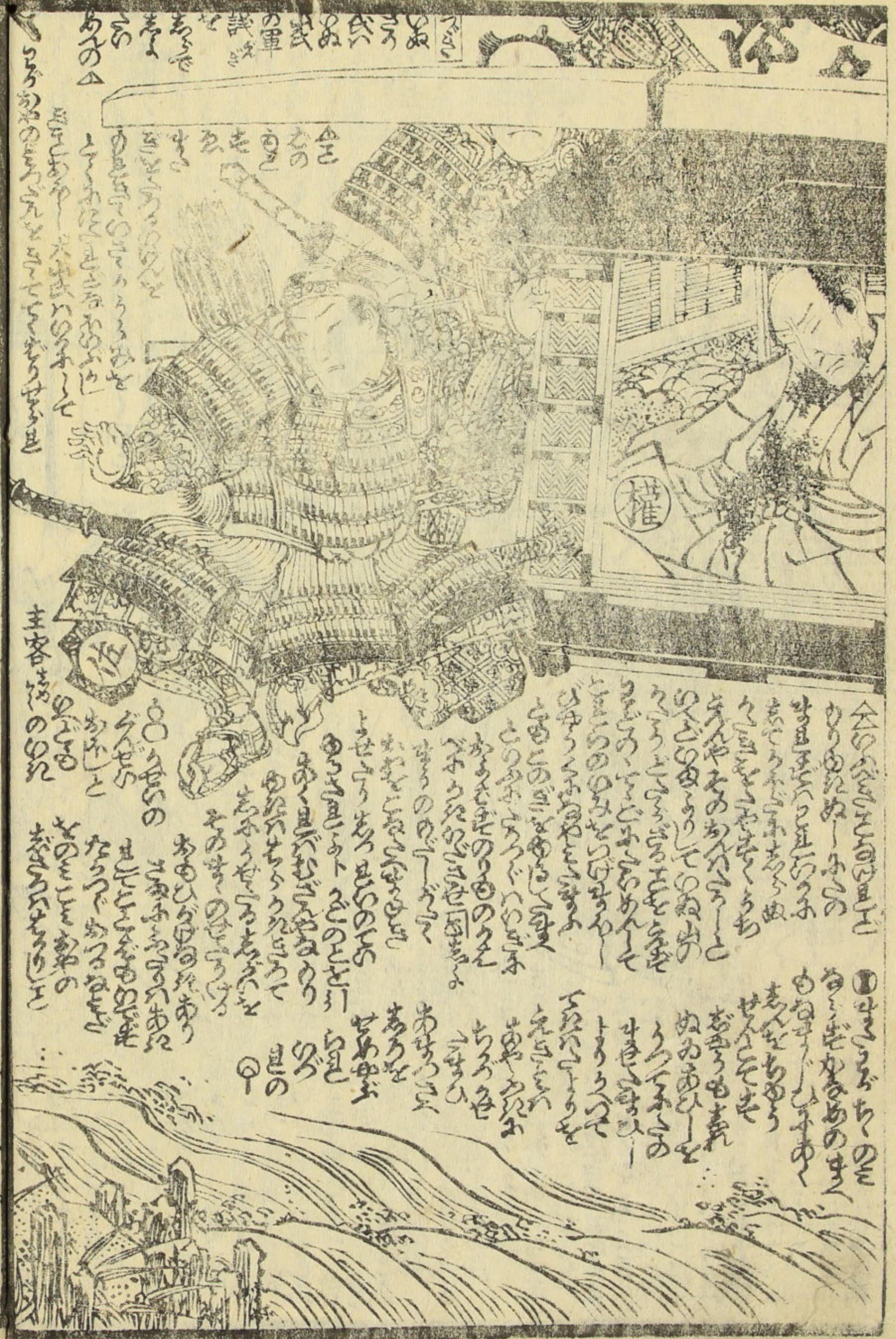


今も
 今も
 今も

今も
 今も
 今も

今も
 今も
 今も





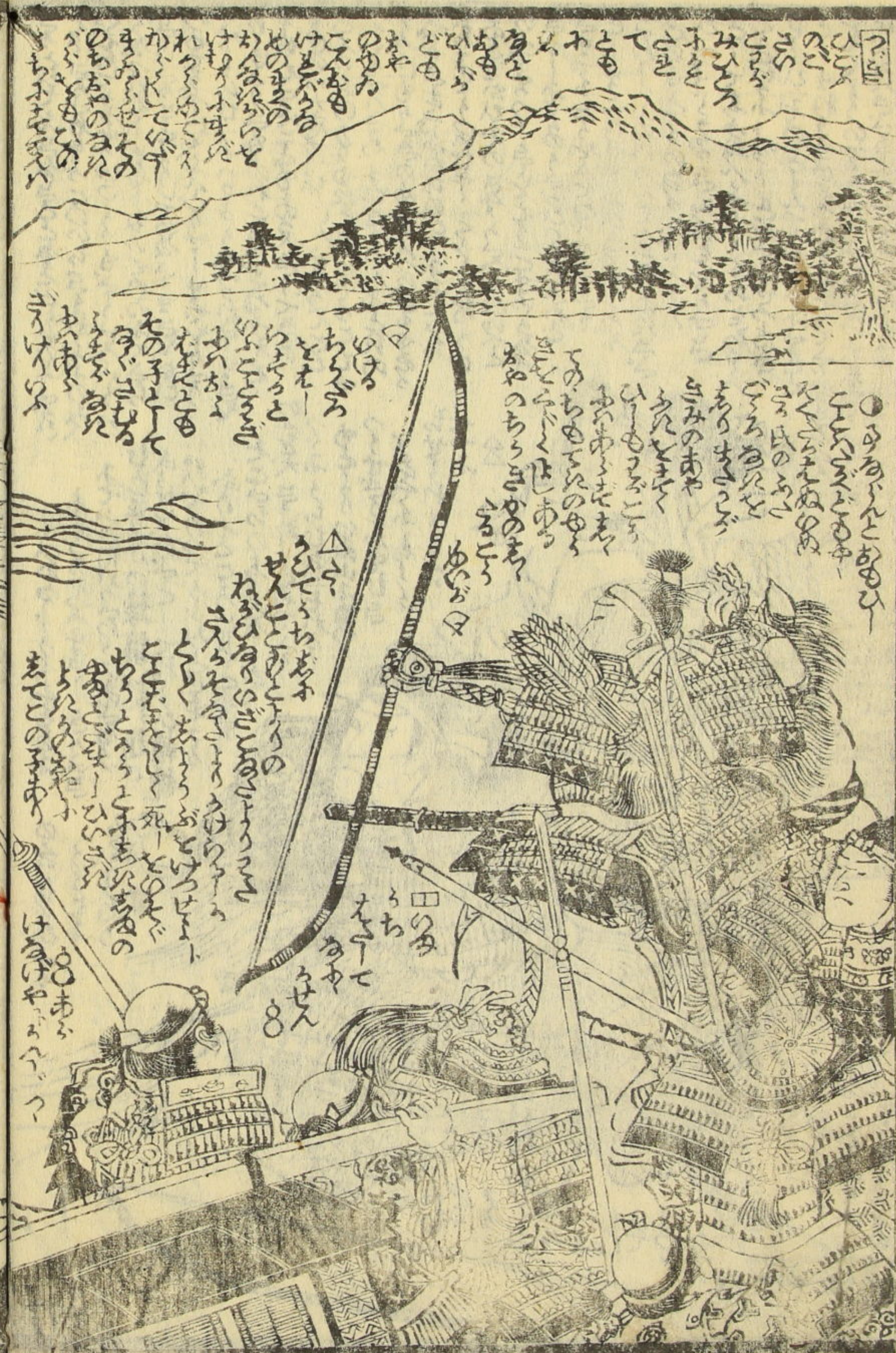
此の如くは、
 戦場の戦況を
 示すものなり。
 主君の威風凛々たる姿、
 臣下の忠告を聞き入れざるは、
 戦に於ける大過なり。
 此の如くは、
 戦場の戦況を
 示すものなり。
 主君の威風凛々たる姿、
 臣下の忠告を聞き入れざるは、
 戦に於ける大過なり。

此の如くは、
 戦場の戦況を
 示すものなり。
 主君の威風凛々たる姿、
 臣下の忠告を聞き入れざるは、
 戦に於ける大過なり。
 此の如くは、
 戦場の戦況を
 示すものなり。
 主君の威風凛々たる姿、
 臣下の忠告を聞き入れざるは、
 戦に於ける大過なり。

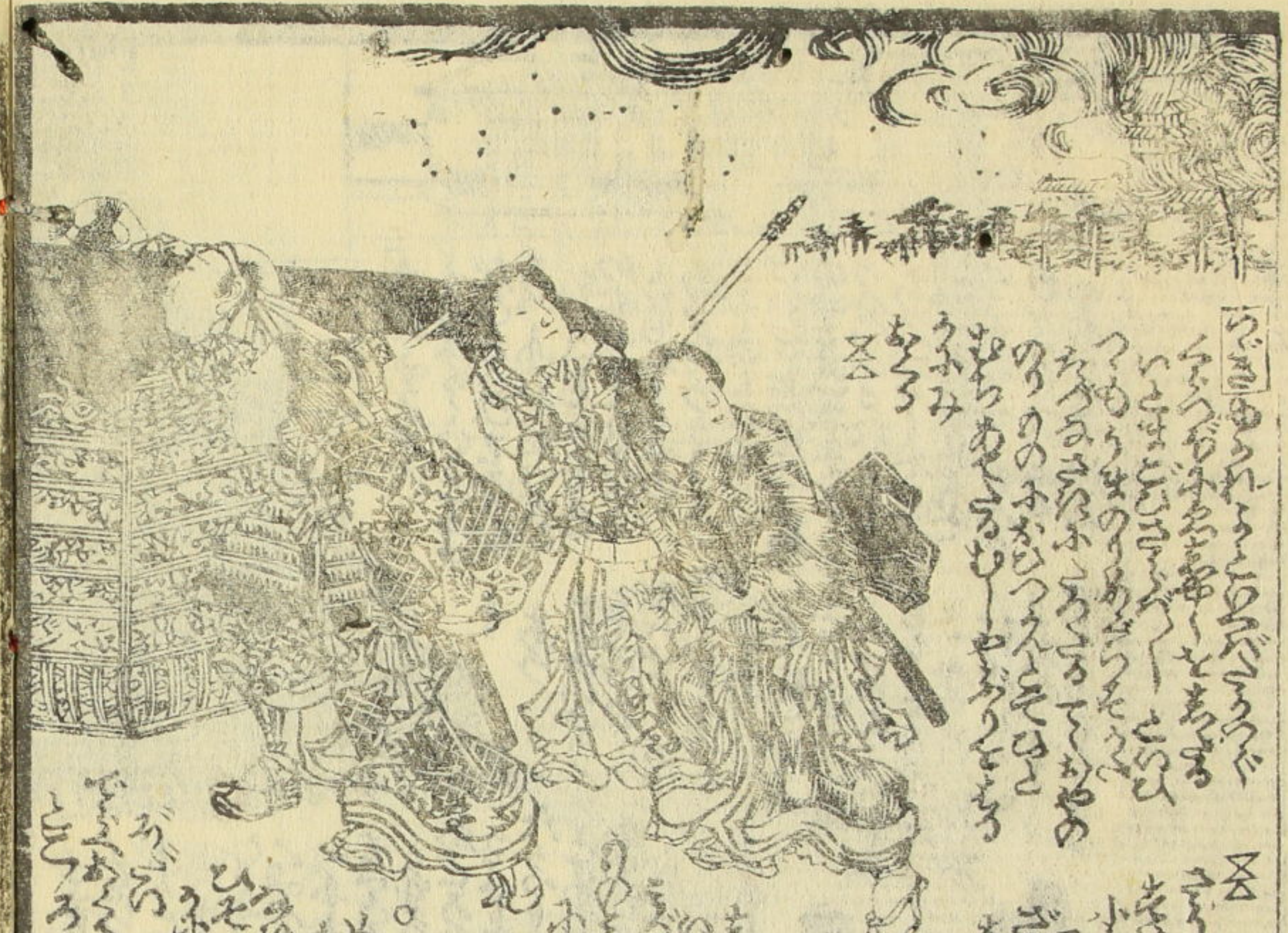


此の如くは、
 戦場の戦況を
 示すものなり。
 主君の威風凛々たる姿、
 臣下の忠告を聞き入れざるは、
 戦に於ける大過なり。
 此の如くは、
 戦場の戦況を
 示すものなり。
 主君の威風凛々たる姿、
 臣下の忠告を聞き入れざるは、
 戦に於ける大過なり。

此の如くは、
 戦場の戦況を
 示すものなり。
 主君の威風凛々たる姿、
 臣下の忠告を聞き入れざるは、
 戦に於ける大過なり。
 此の如くは、
 戦場の戦況を
 示すものなり。
 主君の威風凛々たる姿、
 臣下の忠告を聞き入れざるは、
 戦に於ける大過なり。



笠亭仙果鈔錄



笠亭仙果鈔錄
 笠亭仙果鈔錄の序
 笠亭仙果鈔錄の目次
 笠亭仙果鈔錄の巻頭
 笠亭仙果鈔錄の巻末
 笠亭仙果鈔錄の終巻

一壽齋國貞画圖

弘法大師
 筆海四國間書
 柳亭種彦作

推現堂
 假名情談戀蛙倉
 頼川如皋作

西時次郎
 明鴉墨画通柄襦
 梅蝶樓國貞画

童謡妙々車
 種彦作

薄倂幻日記
 春水作

地本草紙問屋
 萬屋吉藏板

花封卷五章
 六編種彦作
 七編國貞画

尖傳犬の舴紙
 柳亭種彦作

萬屋吉藏板

